

科目名 (Eng)	英語 I A (English I A)							
担当教員	電：宮澤泰彦、物・建：渡辺洋太郎、機：日向重夫							
対象学年等	学科・学年		授業期間・区分・単位数・時間数			分野	形態	学修単位科目
	一般科目 (工学系4科)	1	通年	必修	3	(90)	一般	B
目標基準との対応	福島高専の教育目標との対応：(F-4)、(F-5)、(F-6)。							
	修了時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：6)。							
JABEE基準1(1)との対応：				JABEE 必修科目				
授業の概要と方針	基礎的な単語、熟語、文法、構文の知識を身につけ、英文の内容を正しく読み取る力を養う。							
到達目標	①基礎的な単語の発音、意味を習得すること。②基礎的な文法、構文を理解すること。③辞書を使いながら、英文の大意を把握できるようになること。④基本的な英語による音声活動を行うことができる。							
授業計画								
	週	授業項目	理解すべき内容					事前学習
前期	1	Lesson 1	不定詞、動名詞、It is～ for ～to 構文など					機器を使ってオンデマンドでナレーションを聞き、内容を想像しつつ本文に目を通す。細部はわからなくともよいから3回は事前に聞いてから授業に出る。またレッスンノートに従って辞書を使い新出語句をチェックする。レッスンノートの設問を前回学習したところまで解く。新出語の発音も確認し読み方を練習する。
	2	Lesson 1	make sure that ～など					
	3	Lesson 1	have a ～ influence on など					
	4	Lesson 2	分詞の形容詞的用法など					
	5	Lesson 2	現在完了、現在完了進行形など					
	6	Lesson 2	be about to, Some … Others … など					
	7	Lesson 3	関係代名詞など					
	8	Lesson 3	It seems that ～など					
	9	Lesson 3	as well as など、5W1H					
	10	Function 1	勧誘・提案、依頼、意図の表し方					
	11	Lesson 4	S+V+what などの節					
	12	Lesson 4	過去完了、関係代名詞whatなど					
	13	Lesson 4	as ～as /What is～ like?など					
	14	Lesson 5	S+使役・知覚動詞+0+原型不定詞など					
	15	Lesson 5	関係副詞、形式主語It is ～that… など					
後期	16	Lesson 5	so that… /部分否定など、パラグラフ					
	17	Lesson 6	S+V+現在分詞、分詞構文など					
	18	Lesson 6	強調構文など					
	19	Lesson 6	be willing to / 付帯状況など					
	20	Function 2	許可、謝罪、禁止の表し方					
	21	Lesson 7	S+V+0+ why, how などの節					
	22	Lesson 7	仮定法過去 (If～, Without～)					
	23	Lesson 7	including～/not only A but (also) Bなど、エッセイ構					
	24	Lesson 8	S+知覚動詞+0+現在分詞など					
	25	Lesson 8	仮定法過去完了など					
	26	Lesson 8	助動詞+受け身、S be that ～など					
	27	Function 3	助言、説明の表し方					
	28	Short Story	比喩表現、倒置法、強調構文など					
	29	Short Story	反語法など					
	30	Short Story	no matter how～、more than everなど					
試験について	前期、後期とも中間試験および期末試験を実施する。中間試験は共通科目試験日に50分間の試験を実施する。期末試験は50分の試験を実施する。							
評価方法	定期試験を70%、小テスト・課題等を20%、授業態度等を10%で評価する。							
教科書	POLESTAR English Course I、橋内 武ほか、数研出版。POLESTAR English Course I レッスンノート、数研出版。							
参考書								
関連科目								
履修上の注意	予習では英文の内容を自分なりに思い描いてみる。予習・復習にレッスンノートを活用し、単語、熟語、構文の定着に力を入れてほしい。新たに学んだ文法項目は英語IBの教科書や参考書を参照して理解を深める。音声の学習を大切にし、ナレーションにあわせて何度もシャドウイングし暗唱してしまうくらいにテキストを自分のものにしてほしい。							